



オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。



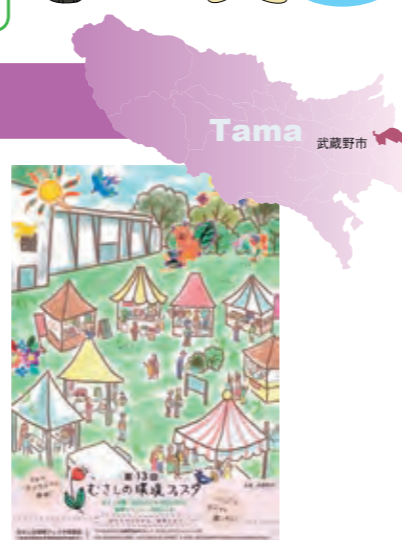
1 武蔵野市 むさしの環境フェスタ

武蔵野市では、環境に配慮した行動、暮らしについて、来場者やイベント出展者などがともに考えるイベント「むさしの環境フェスタ」を実施しています。

今年度は、屋外会場を設けないオンラインイベントとして、2020年11月8日から2021年3月31日まで実施・配信しています。市民団体や事業者が行う環境に関する取組の紹介から、参加型アートイベントや環境に関するクイズなど、楽しみながら環境について学べるコンテンツを用意しました。

また、2020年11月8日に環境啓発施設「むさしのエコレゾート」が開館しました！

【問合せ先】武蔵野市 環境政策課 TEL 0422-60-1841



2 三鷹市 新エネルギー・省エネルギー設備設置助成

三鷹市では、地球温暖化防止に向けて、新エネルギー・省エネルギー設備の普及を進めるため、太陽光発電設備等の設置費の一部を助成する事業を実施しています。

多くの市民や事業者の皆様がこの助成事業を利用して、太陽光発電設備等を設置したことで、2020年3月までの累積発電量は約3,600万kWhとなり、16,863tの二酸化炭素を削減することができました。

近年は、災害時の電力供給の確保等を目的に蓄電池を導入する方も多く、気候変動に対する市民の意識向上に繋がっています。

【問合せ先】三鷹市 環境政策課 TEL 0422-45-1151



3 日の出町 資源集団回収推進事業

日の出町では、ひのでごみ00大作戦21推進協力会委員を中心に、町内の自治会、PTA、福祉施設で資源集団回収事業を行っています。

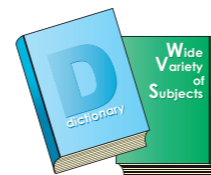
多摩地域ごみ実態調査によると、集団回収量の一人当たりの量では日の出町が1位をキープし続けています。これは、自治会、PTAを中心に子どもの頃から資源集団回収に携わり、事業を通じてリサイクルが自然と身につく環境が整っている成果です。資源集団回収事業からごみ減量を考え、地球温暖化防止に取り組む土壌も育まれています。

本年度はコロナ禍で人数や回数を絞り工夫して事業を行っていますが、今後も町民の皆様と協力しごみの減量を推進していきます。めざせ！ごみゼロ！

【問合せ先】日の出町 生活安全安心課 TEL 042-588-5068



多摩交流センターだより



特定非営利活動法人

東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のごこと！

2021年2月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
2月4日(木) 14:00から	太平洋諸国の現状 —気候変動と中国に翻弄される島嶼国—	中西 武美 氏 (元JETRO職員・元太平洋学会会員)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
2月11日(木) 14:00から	プラスチックと環境問題 —今、私たちができること—	国眼 孝雄 氏 (東京農工大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
2月18日(木) 14:00から	絵本の楽しみから語りの楽しみへ	高野 正美 氏 (読者・語り手・元劇団主催者・ 児童文学同人「メルヘン21」会員)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
2月25日(木) 14:00から	天平の仏、万葉の心	星野 信夫 氏 (国分寺市観光協会会長・前国分寺市長)	未定

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

「多摩交流センターだより」の問合せ先

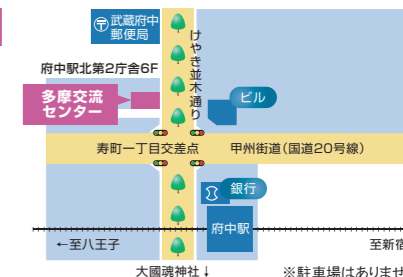
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



- 2021(令和3)年あけましておめでとうございます。
今年は例年と異なり、故郷への帰省を控え、お正月を迎えているご家庭も多いのではないのでしょうか。
- 昨年は、新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。思えば2001年にはアメリカ同時多発テロが、また、2011年には東日本大震災が起こりました。私たちはおよそ10年毎に思いもよらぬ大きな出来事に遭遇しています。
新型コロナウイルスについては、世界の専門家によれば、安全で有効なワクチンが供給され、特効薬の効果が上がれば、早く今年の後半から来年にかけて収束していく可能性が高くなるという見解が出されています。
今年は仕切り直しの東京オリンピックイヤーなので、なんとか無事に世紀のスポーツイベントが開催されることを祈念したいと思います。
- また、本年は衆議院議員や東京都議会議員の選挙があります。日本全体や東京の未来を選択する機会が目白押しの年でもあります。
多摩・島しょ地域の各市町村の将来にも大きく関わりがあるので、しっかりと考えて投票し、より良い社

- 会の形成に道筋をつけたいと思います。
- 今日、社会も大きく変化を遂げる様相を呈しています。リモートワーク、認印のいらない電子決裁、デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速など。これまでに誰も経験したことのない社会が急速に進んでいます。
『災い転じて福となす』の言葉のとおり、コロナ(「災い」)を克服して、新たな技術などにより様々なイノベーションが生まれ(「転じて」)、希望に満ちた社会となる(「福となす」)よう力を合わせていきたいと思っています。
- 当調査会は、今年で設立35年目を迎えます。
東京市町村のシンクタンクとして社会の変化をいち早く察知し、調査研究やシンポジウム、市町村共同事業、広域的市民活動支援など様々な事業を通じて多摩・島しょ地域のお役に立てるよう努めて参ります。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
(M.N)

